

新基地建設反対名護共同センターニュース

違法な土砂投入は許さない！ シュワブゲート前県民集会に2000人

「必ず撤回を決断する」

翁長知事が集会へメッセージ

7日のゲート前県民集会へ寄せられた翁長知事のメッセージ（要旨）です。

政府はなりふり構わず埋め立て工事の既成事実をつくり、県民の諦めを誘おうとしているが、私たちは県民の財産と生命、将来の子や孫の安心や安全のため、決して諦めるわけにはいかない。多くの皆さんの関心事は、いつ（埋立承認を）撤回するか、だと思う。みなさんの思いは私の胸にもしっかりと届いている。

辺野古に新基地を造らせないと私の決意はみじんも揺らぐことはない。法的観点から丁寧に検討しており、環境保全措置などについて看過できない事態となれば、私はちゅうちょなく必ず撤回を決断する。



辺野古新基地を造らせないとオール沖縄会議は7日、辺野古キャンプ・シュワブゲート前で「ジユゴン・サンゴを守れ！土砂投入を許さない辺野古新基地建設断念を求め県民集会」を開き、2000人が参加しました。翁長知事がメッセージを寄せ（別掲）、オール沖縄の国会議員全員が工事を違法に強行する政府を批判しました。赤嶺政賢衆院議員（写真）は「辺野古で安倍政権が繰り広げているのは政治の暴力だ。朝鮮半島の動きに照らしても（新基地建設は）時代錯誤だ。正義の運動がオール沖縄、島ぐるみの闘い。団結の力を示そう」と訴えました。

「土砂投入で希少なサンゴ類やジユゴンなどが生息する海草藻場を破壊させないことや、大浦湾側は活断層の疑いや軟弱地盤のため計画の白紙撤回を求める」との集会アピールを採択しました。

オール沖縄のたたかいかいこそ正義

よしい俊平 名護市議補 事務所開き

稲嶺前市長、赤嶺衆院議員と市民が激励

9月9日投開票の名護市議会議員選挙に初めて立候補する日本共産党のよしい（吉居）俊平氏（写真）の事務所開きが6日、名護市内で行われました。稲嶺進前名護市長や赤嶺政賢衆院議員が激励に駆けつけ、事務所は市民であふれました。稲嶺氏は「25歳という若い力で名護市議会に新風を吹かせてほしい」と期待を寄せました。

よしい氏は「看護師・保健師として培った市民の命を大切にしたい思いと知識を市議として、新基地を造らせず市民の暮らしを大切にする名護市を実現するために役立て、頑張る」と決意を表明し大きな拍手に包まれました。



安里・大道・松川 島ぐるみの会

「スタンディング 100 回目」

那覇市内の「安里・大道・松川 島ぐるみの会」は2年前から毎週月曜日午前8時から取り組んでいるスタンディングの第100回目を9日、宗教者8人を含む住民45人の参加で行いました。（写真左）「基地はいらない」「翁長知事を支えるぞ！」など書いたボードを掲げ、机も出して県民投票条例制定を求める署名も呼びかけました。

日蓮宗法華経寺が県民投票にも協力

先立つ6日、同島ぐるみの会の宮城光也代表（写真右端）などは日蓮宗琉球山法華経寺を訪問、スタンディングと県民投票の署名運動へ協力を要請。対応した高橋副住職はスタンディングにみんなで参加しますと快く応じ、県民投票の署名用紙も20人分預かってくれました。

